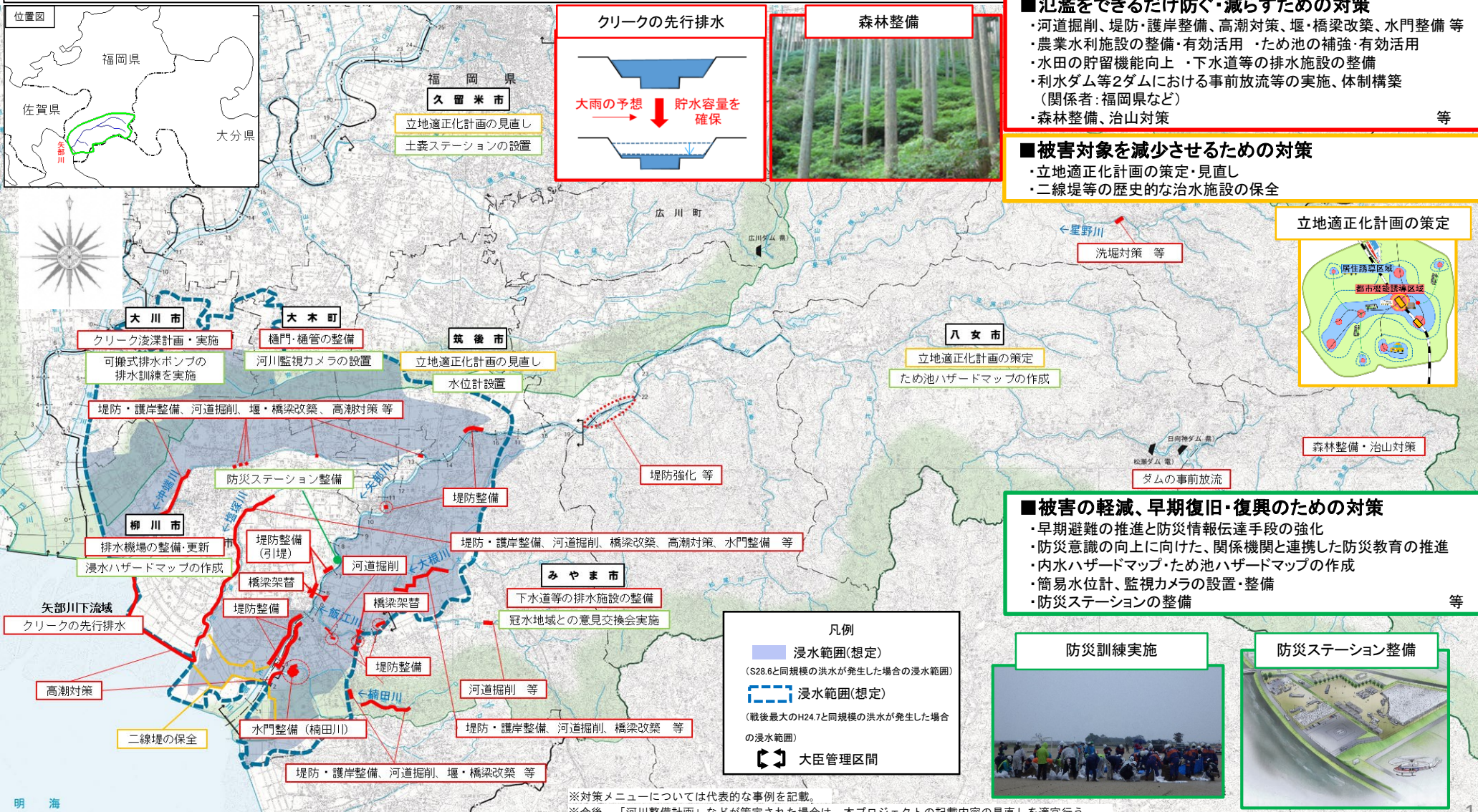


矢部川水系流域治水プロジェクト（案）【位置図】

資料－ 4

～近年出水で大きな被害を受けた矢部川における抜本的な治水対策及び流域が一体となった防災・減災対策～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、矢部川水系においても事前防災対策を進める。干満差が日本一大きい有明海に注ぎ、下流部では低平地が広がり水害の被害に遭いやすいという流域の特性を踏まえて、河道整備などを進めることで、戦後最大の平成24年7月洪水と同規模の洪水に対して本川の堤防からの越水を回避するなど、あらゆる関係者が協働して流域治水の取組を推進していき流域における浸水被害の軽減を図る。



※対策メニューについては代表的な事例を記載。
※今後、「河川整備計画」などが策定された場合は、本プロジェクトの記載内容の見直しを適宜行う。
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

矢部川水系流域治水プロジェクト（案）【ロードマップ】

～近年出水で大きな被害を受けた矢部川における抜本的な治水対策及び流域が一体となった防災・減災対策～

○矢部川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

- 【短期】 治水上安全度の低い箇所の整備を優先的に実施。国直轄区間では本川下流より整備を実施。大雨が予想される場合に、クリーク等の先行排水を行うことで流出抑制に取り組む。利水ダム等による事前放流体制の構築や防災ステーションの整備を完了させる。
- 【中長期】 堤防・護岸整備、河道掘削、堰・橋梁の改築等を進めていき、流域全体の安全度向上を図る。国直轄区間では支川の整備を進めていく。防災教育等の実施や自主防災組織の活動支援を継続的に進めていき、流域における、防災・減災対策を推進する。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫を出来るだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	筑後川河川事務所 福岡県 等	本川下流より整備を実施	支川の整備
	内水対策	柳川市・大川市・みやま市・大木町等	橋田川水門設置	泰仙寺橋架け替え
	高潮・津波対策	筑後川河川事務所 福岡県	水路等の浚渫・整備	高潮堤・水門の整備
	下水道対策	みやま市	下水道等排水施設の整備	
	海岸高潮対策	福岡県	高潮堤の整備	
	森林整備、治山対策	福岡森林管理署・福岡県・ 森林整備センター九州整備局	治山事業の実施・森林整備事業の実施・水源林造成事業の実施	
	流水の貯留機能の拡大	筑後川河川事務所 福岡県・福岡県企業局 等	利水ダム等による事前放流体制構築	
	流域の雨水貯留機能の拡大	福岡県・久留米市・柳川市・筑後市・大川市・みやま市・大木町	農業水利施設の整備・有効活用、ため池の補強・有効活用、水田の貯留機能向上	
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	久留米市・八女市・筑後市・（福岡県）	クリークの先行排水 （久留米市・柳川市・筑後市・大川市・みやま市・大木町）	立地適正化計画の策定・見直し 等
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	筑後川河川事務所 福岡県・各市町	水位計・河川監視カメラ等の設置・浸水ハザードマップの作成・更新 等	
	あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の充実	筑後川河川事務所 福岡県・各市町	ため池ハザードマップの作成	防災教育・出前講座の実施 等
	避難体制等の強化	筑後川河川事務所 福岡県・各市町	連絡体制の構築 等	自主防災組織の設立・活動支援 等
	経済被害の軽減	筑後川河川事務所 柳川市	防災ステーション整備	防災ステーション完成 （筑後川河川事務所・柳川市）

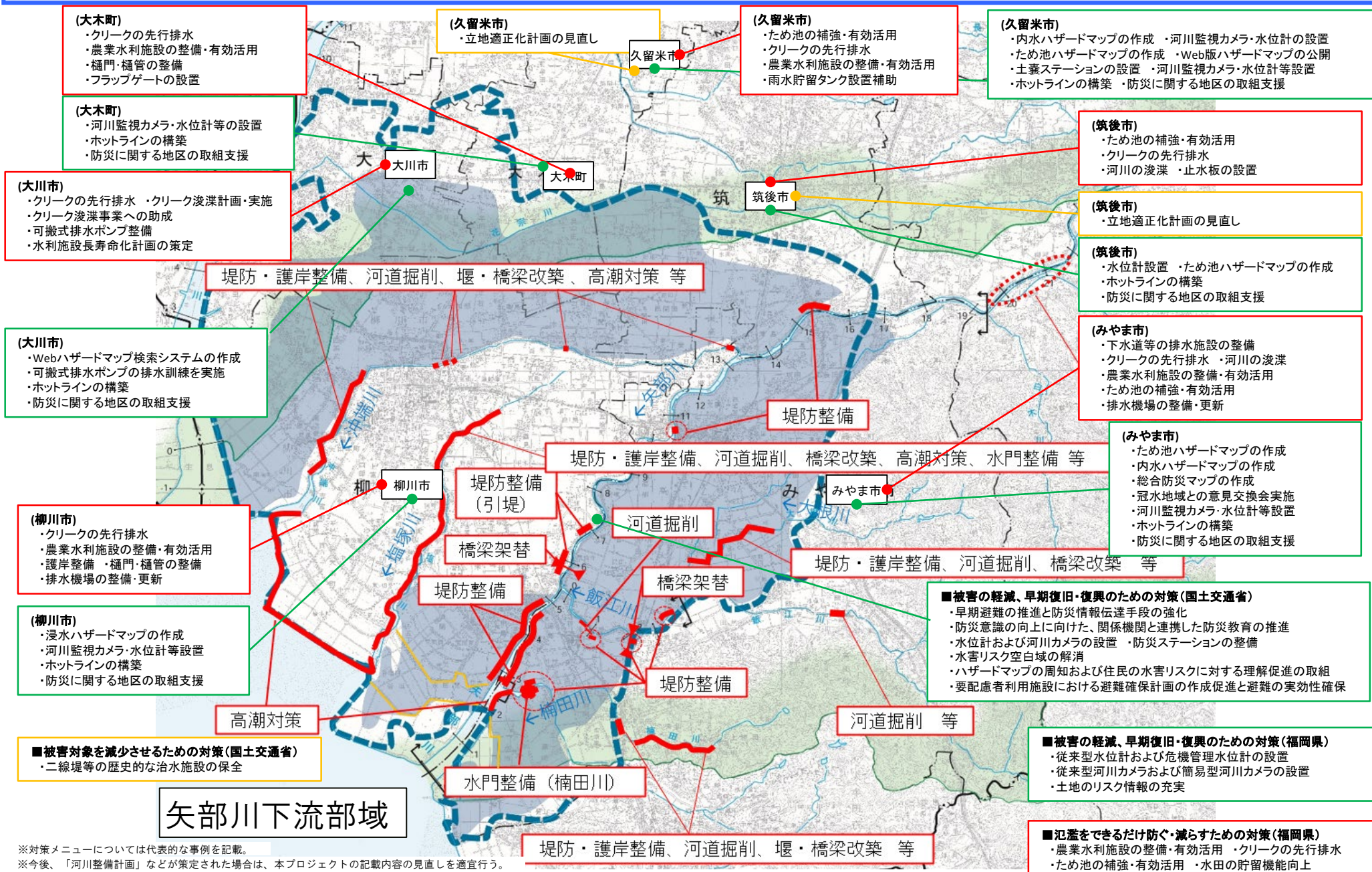
気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

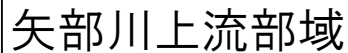
※対策メニューについては代表的な事例を記載。

矢部川水系流域治水プロジェクト（案）【詳細位置図】

～近年出水で大きな被害を受けた矢部川における抜本的な治水対策及び流域が一体となった防災・減災対策～



～近年出水で大きな被害を受けた矢部川における抜本的な治水対策及び流域が一体となった防災・減災対策～



矢部川流域における対策内容

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策内容

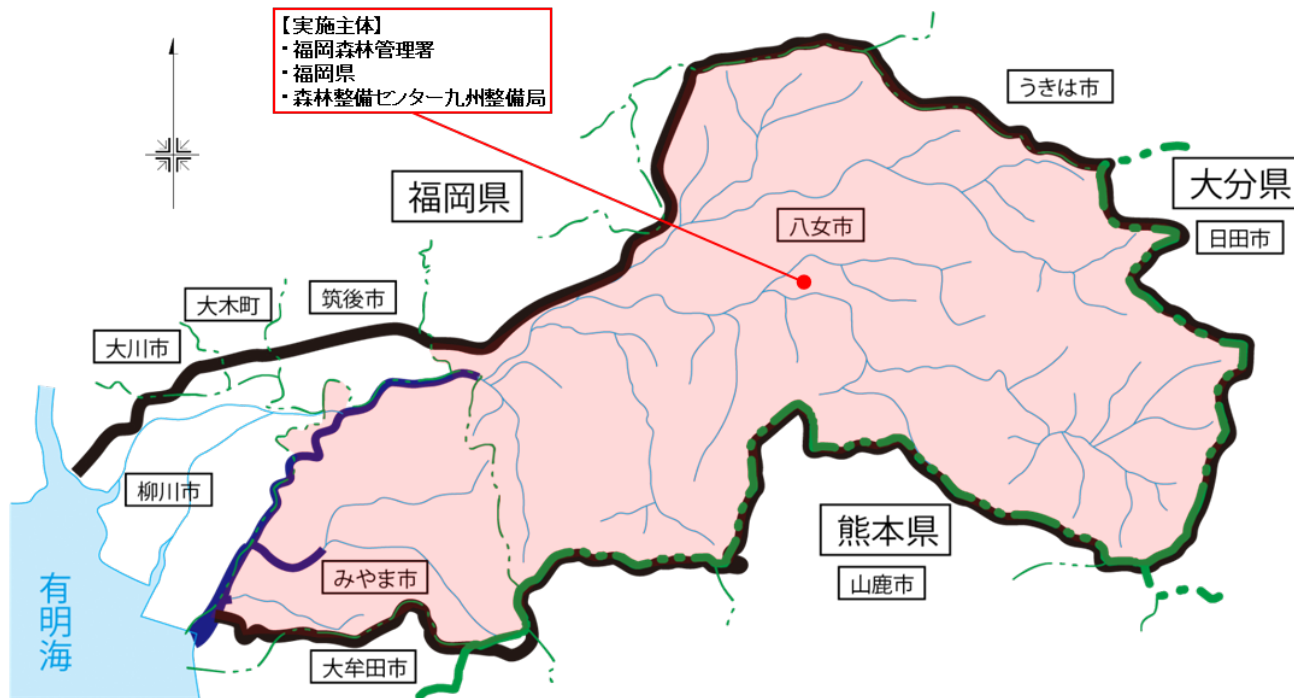
矢部川水系流域治水プロジェクト（案）【取組】

～近年出水で大きな被害を受けた矢部川における抜本的な治水対策及び流域が一体となった防災・減災対策～

■森林整備、治山対策【氾濫河川上流域における森林整備、治山対策の実施】

森林は水源涵養機能や山地災害防止機能等の公益的機能を有しており、この機能の適切な発揮に向け、森林整備、治山対策を推進。

間伐等の森林整備の実施により雨水を地中に素早く浸透させ、ゆっくり流出させるという森林の洪水緩和機能を保全するとともに、治山事業の実施により流木・土砂の流出抑制効果を発揮させることで、流域上流における防災・減災対策に資する。



森林整備による浸透能の向上効果



治山事業の実施による流木・土砂の流出抑制効果



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程	
				短期	中長期
氾濫を出来るだけ防ぐ・減らすための対策	森林整備、治山対策	治山事業の実施・森林整備事業の実施 水源林造成事業の実施	福岡森林管理署・福岡県・ 森林整備センター九州整備局		

矢部川水系流域治水プロジェクト（案）【取組】

～近年出水で大きな被害を受けた矢部川における抜本的な治水対策及び流域が一体となった防災・減災対策～

■ダムの事前放流【福岡県等の事例】

ダム上流の予測降雨量が、ダムごとに設定される基準降雨量を上回った場合に、洪水調節に必要な容量を算定し、洪水調節可能容量の範囲内で予測されるダムの総流入量に対し計画の洪水調節容量を超える分をあらかじめ利水容量から確保する。
矢部川水系では令和2年5月29日に治水協定を同意。
矢部川水系では、2ダムで水害対策のために使える容量が1.59倍に。

既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針に基づく

【構成員】 矢部川水系 関係者

○河川管理者

- ・国土交通省九州地方整備局筑後川河川事務所
- ・福岡県県土整備部

○ダム管理者

- ・福岡県県土整備部（日向神ダム）
- ・福岡県企業局（松瀬ダム）

○関係利水者

- ・筑後川土地改良区
- ・福岡県企業局

ダム名	有効貯水容量 (千m3)	洪水調節容量	洪水調節可能容量	基準 降雨量
		容量(千m3)	容量(千m3)	
●日向神	23,900	16,600	9,612	176
○松瀬	198	0	198	176
合計	24,098	16,600	9,810	—



凡 例	
	国土交通省所管(道府県管理)ダム[目的]
	利水ダム[目的、管理者]
	基準地点
	主要な地点
	県境
	市町村境
	流域界
	大臣管理区間

※●：多目的ダム、○：利水ダム

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程	
				短期	中長期
氾濫を出来るだけ防ぐ・減らすための対策	流水の貯留機能の拡大	利水ダム等による事前放流体制構築	筑後川河川事務所 福岡県・福岡県企業局 等		

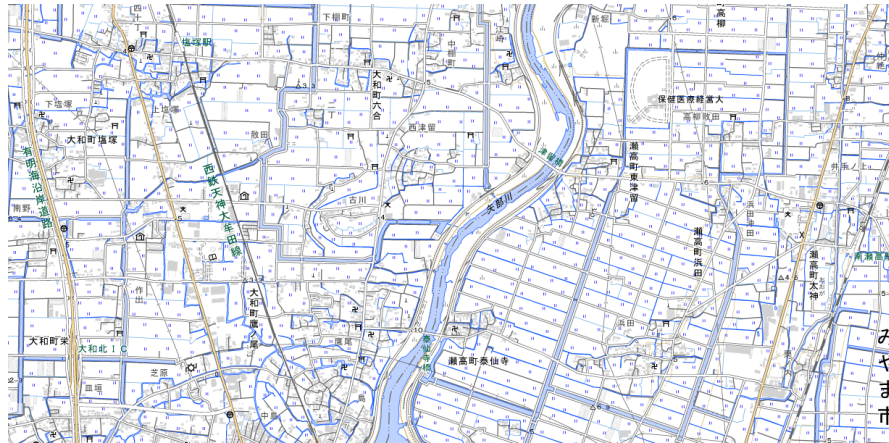
矢部川水系流域治水プロジェクト（案）【取組】

～近年出水で大きな被害を受けた矢部川における抜本的な治水対策及び流域が一体となった防災・減災対策～

■農業水利施設の整備・有効活用【柳川市等の事例】

矢部川流域では低平地の特性を生かしたクリークが網の目のように発達している。大雨が予想される場合に、クリークの先行排水を行うことで貯水容量を確保し、流出抑制に取り組んでいる。

矢部川流域
に広がるクリーク

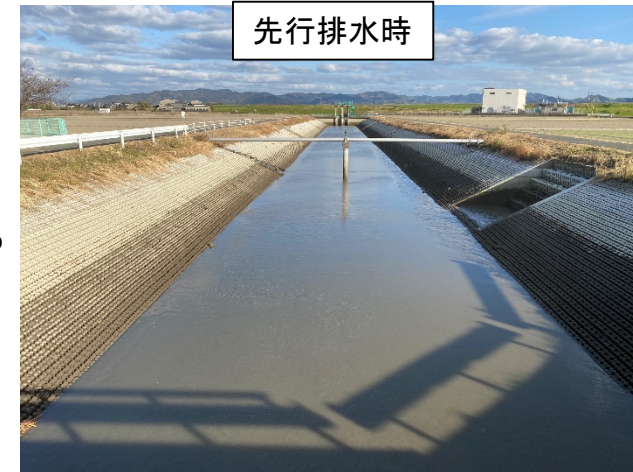
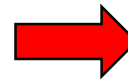


柳川市の場合：
クリークの総延長 約930km
クリークの先行排水容量 約1800千 m^3

例) 柳川市内のクリーク



大雨が予想される
場合に水位を下げる



区分	対策内容	実施内容	実施主体	クリークの先行排水 (久留米市・柳川市・筑後市・ 大川市・みやま市・大木町)	
				短期	中長期
氾濫を出来るだけ防ぐ・ 減らすための対策	流域の雨水貯留機能の 拡大	農業水利施設の整備・有効活用 (クリークの先行排水 等) ため池の補強・有効活用	福岡県・久留米市・柳川市・筑後 市・大川市・みやま市・大木町		

矢部川流域における対策内容

被害対象を減少させるための対策内容

矢部川水系流域治水プロジェクト（案）【取組】

～近年出水で大きな被害を受けた矢部川における抜本的な治水対策及び流域が一体となった防災・減災対策～

■立地適正化計画の策定・見直し

※頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」のイメージ

頻発・激甚化する自然災害に対応するため、災害ハザードエリアにおける開発抑制、移転の促進、立地適正化計画と防災との連携強化など、安全なまちづくりのための総合的な対策を講じる。

◆災害ハザードエリアにおける開発抑制（開発許可の見直し）

<災害レッドゾーン>

-都市計画区域全域で、住宅等（自己居住用を除く）に加え、自己の業務用施設（店舗、病院、社会福祉施設、旅館・ホテル、工場等）の開発を原則禁止

<浸水ハザードエリア等>

-市街化調整区域における住宅等の開発許可を厳格化（安全上及び避難上の対策等を許可の条件とする）

区 域	対 応
災害レッドゾーン	市街化区域 市街化調整区域 非線引き都市計画区域 開発許可を原則禁止
浸水ハザードエリア等	市街化調整区域 開発許可の厳格化

【都市計画法、都市再生特別措置法】

災害レッドゾーン

- ・災害危険区域（崖崩れ、出水等）
- ・土砂災害特別警戒区域
- ・地すべり防止区域
- ・急傾斜地崩壊危険区域

◆立地適正化計画の強化（防災を主流化）

-立地適正化計画の居住誘導区域から災害レッドゾーンを原則除外

-立地適正化計画の居住誘導区域内で行う防災対策・安全確保策を定める「防災指針」の作成

（避難路、防災公園等の避難地、避難施設等の整備、警戒避難体制の確保等）

【都市再生特別措置法】

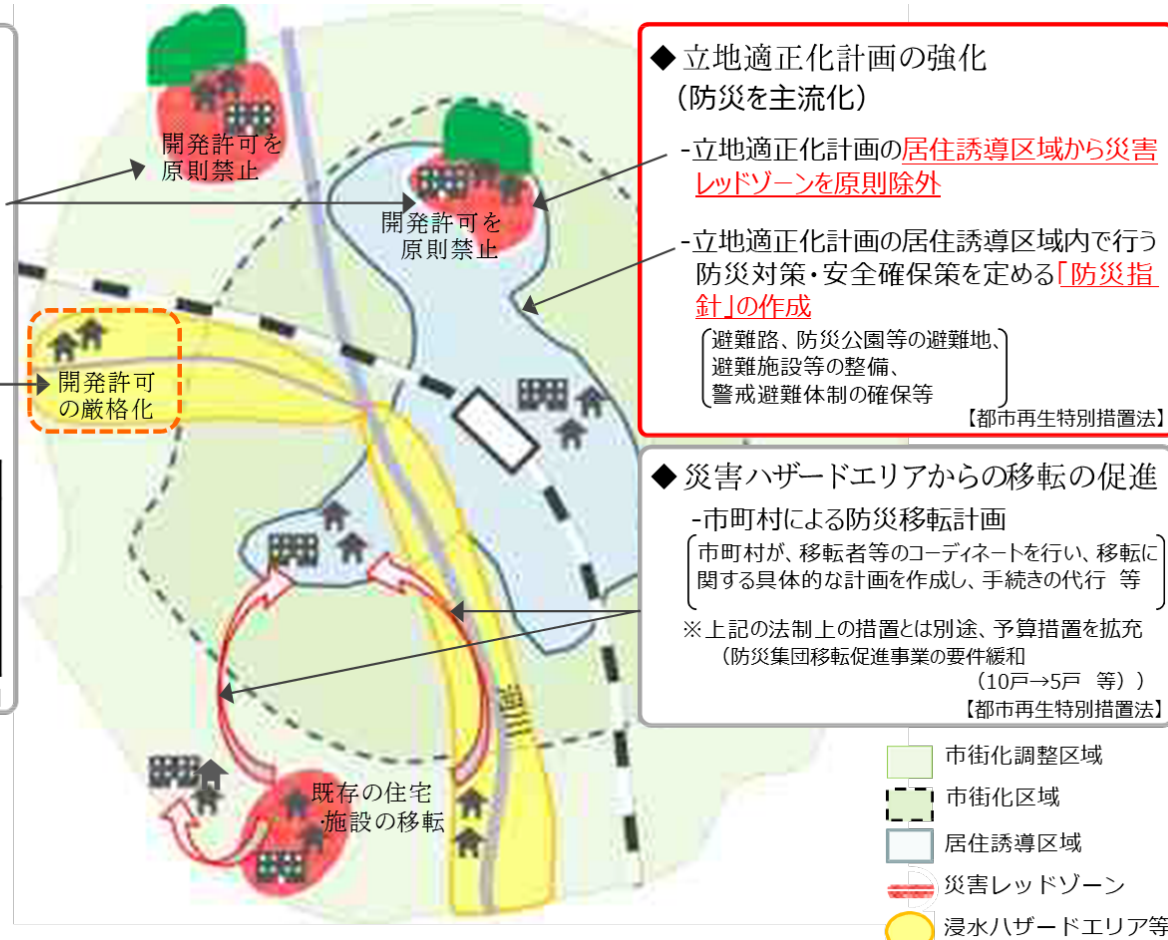
◆災害ハザードエリアからの移転の促進

-市町村による防災移転計画

（市町村が、移転者等のコーディネートを行い、移転に関する具体的な計画を作成し、手続きの代行 等）

※上記の法制上の措置とは別途、予算措置を拡充（防災集団移転促進事業の要件緩和（10戸→5戸 等））

【都市再生特別措置法】



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程	
				短期	中長期
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	立地適正化計画の策定・見直し	久留米市・八女市・筑後市（福岡県）		

矢部川流域における対策内容

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策内容

矢部川水系流域治水プロジェクト（案）【取組】

～近年出水で大きな被害を受けた矢部川における抜本的な治水対策及び流域が一体となった防災・減災対策～

■防災ステーション整備【筑後川河川事務所・柳川市の事例】

矢部川水系で初となる河川防災ステーションを整備。平成24年7月堤防決壊時に使用された実績数量を踏まえ、矢部川の堤防決壊を想定した必要資材量を備蓄。

平常時は防災訓練や防災学習など地域防災力向上に向けた活動など、国と市が連携調整して取り組む。

矢部川六合地区河川防災ステーション 諸元	
地先名	福岡県柳川市大和町六合
面積	27,000m ²
盛土造成	95,000m ³
施設	ヘリポート、水防施設(柳川市) 等
資材量	岩砕 11,300m ³
	2tブロック 420個
	かごマット 708個
	土砂 等



防災ステーション完成
(筑後川河川事務所・柳川市)

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程	
				短期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	経済被害の軽減	防災ステーション整備	筑後川河川事務所 柳川市	→	

矢部川水系流域治水プロジェクト（案）【詳細ロードマップ】

～近年出水で大きな被害を受けた矢部川における抜本的な治水対策及び流域が一体となった防災・減災対策～

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程	
				短期	中長期
氾濫を出来るだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	矢部川本川・支川洪水氾濫対策（国）	筑後川河川事務所	本川下流より整備を実施 泰仙寺橋架け替え	支川の整備
		矢部川本川・支川洪水氾濫対策（県）	福岡県		
		市営河川の改修	筑後市・みやま市		
		フラップゲート等の設置	筑後市・大木町		
	内水氾濫対策	農業水利施設の整備・有効活用（水路の浚渫・整備 等）	柳川市・大川市・みやま市・大木町		
		排水機場の整備・更新	柳川市・みやま市	桶田川水門設置	
	高潮・津波対策	高潮堤・水門の整備	筑後川河川事務所 福岡県		
	下水道対策	下水道等の排水施設の整備	みやま市		
	海岸高潮対策	高潮堤の整備	福岡県		
	森林整備、治山対策	治山事業の実施・森林整備事業の実施 水源林造成事業の実施	福岡森林管理署・福岡県・ 森林整備センター九州整備局		
	流水の貯留機能の拡大	利水ダム等による事前放流体制構築	筑後川河川事務所 福岡県・福岡県企業局 等	クリークの先行排水 （久留米市・柳川市・筑後市・ 大川市・みやま市・大木町）	
	流域の雨水貯留機能の拡大	農業水利施設の整備・有効活用（クリークの先行排水 等） ため池の補強・有効活用	福岡県・久留米市・柳川市・筑後市・大川市・みやま市・大木町		
		水田の貯留機能向上	福岡県		

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。
※対策メニューについては代表的な事例を記載。

矢部川水系流域治水プロジェクト（案）【詳細ロードマップ】

～近年出水で大きな被害を受けた矢部川における抜本的な治水対策及び流域が一体となった防災・減災対策～

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程	
				短期	中長期
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	立地適正化計画の策定・見直し	久留米市・八女市・筑後市・（福岡県）		
	浸水範囲の限定・氾濫水の制御	二線堤の保全	筑後川河川事務所		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	水位計・河川監視カメラ等の設置	筑後川河川事務所 福岡県・各市町		
		浸水ハザードマップの作成・更新	筑後川河川事務所 福岡県・久留米市・柳川市・大川市・みやま市		
		内水ハザードマップの作成・更新	久留米市・八女市・みやま市		
		ため池ハザードマップの作成・更新	久留米市・八女市・筑後市・みやま市		
	あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の充実	防災教育・出前講座等の実施	筑後川河川事務所 福岡県・各市町		
		意識啓発のツール・広報の充実	筑後川河川事務所 福岡県・各市町		
	避難体制等の強化	自主防災組織の設立・活動支援	筑後川河川事務所 福岡県・各市町		
		連絡体制の構築	筑後川河川事務所 福岡県・各市町		
		防災訓練等の実施	筑後川河川事務所 福岡県・各市町		
	経済被害の軽減	土嚢ステーションの設置	久留米市		
		防災ステーション整備	筑後川河川事務所 柳川市		

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。
※対策メニューについては代表的な事例を記載。